

9 感染症とその対策

1) 二類感染症に含まれるのはどれか。(1 3)

1. コレラ
2. 腸チフス
3. アメーバ赤痢
4. 急性灰白髄炎

2) 感染症について正しい組合せはどれか。(1 3)

1. 狂犬病ーリケッチア
2. コレラー細菌
3. 百日咳ーウイルス
4. 日本脳炎ー細菌

3) 性行為感染症ではないのはどれか。(1 4)

1. エイズ
2. 尖圭コンジローマ
3. クラミジア感染症
4. B型肝炎
5. A型肝炎
6. C型肝炎

4) 四類感染症はどれか。(1 4)

1. 細菌性赤痢
2. コレラ
3. 腸管出血性大腸菌感染症
4. 狂犬病

5) ウイルス性の経口感染症はどれか。(1 5)

1. 麻疹
2. コレラ
3. ポリオ
4. 赤痢

6) 予防接種法による2類疾患はどれか。(15)

1. 日本脳炎
2. 風疹
3. 破傷風
4. インフルエンザ

7) 垂直感染を起こさないのはどれか。(15)

1. A型肝炎
2. B型肝炎
3. エイズ
4. トキソプラズマ症

8) エイズについて誤っている記述はどれか。(16)

1. 我が国の患者数は増加している
2. 感染はウイルス感染による
3. 世界では北アメリカ地域の患者数が最も多い。
4. 感染症法の対象疾患である。

9) 人畜共通感染症(人畜感染症)でないのはどれか。(16)

1. ポリオ
2. 狂犬病
3. 結核
4. 日本脳炎

10) 予防接種に生菌ワクチンが使用されているのはどれか。(16)

1. 麻疹
2. 破傷風
3. ジブテリア
4. インフルエンザ

11) 真菌による疾患はどれか。(17)

1. マラリア
2. カンジタ症
3. ウエストナイル熱
4. ツツガムシ病

1 2) ウイルスによる感染症はどれか。(1 7)

1. 百日咳
2. マラリア
3. オウム病
4. エボラ出血熱

1 3) ウイルスと疾病の組合せで誤っているのはどれか。(1 8)

1. ヘルペスウイルス — 帯状疱疹
2. ノロウイルス — 食中毒
3. アデノウイルス — 流行性角膜炎
4. ライノウイルス — 手足口病

1 4) 感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）で、一類感染症はどれか。

(1 9)

1. 重症急性呼吸器症候群（SARS）
2. エボラ出血熱
3. 後天性免疫不全症候群（AIDS）
4. コレラ

1 5) 後天性免疫不全症候群は感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）で何類に分類されているか。(2 0)

1. 二類
2. 三類
3. 四類
4. 五類

1 6) 後天性免疫不全症候群について、感染の危険性があるのはどれか。(2 1)

1. 汗
2. 涙
3. 唾液
4. 母乳

1 7) 五類感染症はどれか。(2 2) 2

1. 急性灰白髄炎
2. 後天性免疫不全症候群
3. ジフテリア
4. 腸管出血性大腸菌感染症

18) ダニ以外で媒介される疾患はどれか。(22)

1. ツツガムシ
2. 重症熱性血小板減少症候群
3. 日本脳炎
4. 日本紅斑熱

19) 体液を介して感染する疾患はどれか。(22)

1. 腸チフス
2. B型肝炎
3. 破傷風
4. コレラ

20) 我が国で予防接種が行われていないのはどれか。(22)

1. 後天性免疫不全症候群
2. 水痘
3. 麻疹
4. 結核

21) 我が国の院内感染で問題となっている病原体はどれか。(23)

1. 破傷風菌
2. 日本脳炎ウイルス
3. 鳥インフルエンザウイルス
4. MRSA

22) 細菌感染症はどれか。(24)

1. デング熱
2. マラリア
3. ハンセン病
4. SARS

23) 地球上から根絶された感染症はどれか。(25)

1. コレラ
2. 破傷風
3. 痘そう
4. ポリオ

24) 予防接種に生ワクチンを使用するのはどれか。(25)

1. 麻疹
2. 百日咳
3. 日本脳炎
4. 肺炎球菌

25) リケッチア感染症はどれか。(26)

1. 梅毒
2. デング熱
3. ジフテリア
4. ツツガムシ病

26) 再興感染症はどれか。(27)

1. SARS
2. エボラ出血熱
3. ウエストナイル熱
4. 結核

27) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）に定められた感染症で致死率が最も高いのはどれか。(28)

1. エボラ出血熱
2. 中東呼吸器症候群（MERS）
3. 腸管出血性大腸菌感染症
4. デング熱

28) 空気感染対策が有効なのはどれか。(29)

1. 赤痢
2. コレラ
3. 結核
4. ポリオ



おまけ

新型コロナウイルスは SARS や MERS と同じコロナウイルスの仲間です。
この中で SARS や MERS と同じ分類に属するのはどれでしょうか？

1. コレラ；Cholera
2. デング熱；Dengue fever
3. エボラ出血熱；Ebora virus disease
4. 結核；Tuberculosis



答え：4.結核（Tuberculosis） ※SARS や MERS は二類感染症

10 消毒法

1) 皮膚の消毒について適切でないのはどれか。(13)

1. エタノール
2. 逆性石けん
3. ホルマリン
4. ヨードチンキ

2) B型肝炎ウイルスの消毒に有効なのはどれか。(15)

1. グルコン酸クロルヘキシジン
2. 塩化ベンザルコニウム
3. ポピドンヨード
4. 次亜塩素酸ナトリウム

3) 芽胞の消毒に有効でないのはどれか。(18)

1. エタノール
2. ホルムアルデヒド
3. 次亜塩素酸ナトリウム
4. エチレンオキシド

4) 滅菌に用いられるのはどれか。(26)

1. アルコール
2. 塩素ガス
3. 高圧蒸気
4. 紫外線

5) 滅菌に用いられるのはどれか。(27)

1. グルタルアルデヒド (グルタラール)
2. ポピドンヨード
3. 逆性石けん
4. オートクレーブ

6) 皮膚の消毒に用いないのはどれか。(29)

1. アルコール類
2. 塩素系消毒剤
3. ビグアナイド系消毒剤
4. ヨウ素系消毒剤



1 2 保健統計

- 1) 全国民を調査対象とするのはどれか。(1 2)
 1. 感染症発生動向調査
 2. 国勢調査
 3. 国民生活基礎調査
 4. 国民栄養調査

- 2) 部位別がんで欧米より我が国の方が多いのはどれか。(1 3)
 1. 皮膚癌
 2. 肝癌
 3. 大腸癌
 4. 乳癌

- 3) 合計特殊出生率について誤っている記述はどれか。(1 4)
 1. 15～49 歳女性の年齢別出生率を合計し、一人当たりにした値である
 2. 将来の人口の増減を予測する指標である
 3. 我が国では減少傾向を示している
 4. 合計特殊出生率は粗出生率より高い

- 4) 人口ピラミッドの類型で最も人口減少が予測されるのはどれか。(1 5)
 1. 富士山型
 2. ピラミッド型
 3. つぼ型
 4. はこ型

- 5) 我が国の人口指数で最も多いのはどれか。(1 5)
 1. 年少人口指数
 2. 老年人口指数
 3. 従属人口指数
 4. 老年化指数

- 6) 調査した日の通院患者数がわかるのはどれか。(1 8)
 1. 国勢調査
 2. 人口動態調査
 3. 国民生活基礎調査
 4. 国民健康・栄養調査

7) 我が国の 2013 年の老年人口割合で正しいのはどれか。(2 1)

1. 約 15%
2. 約 20%
3. 約 25%
4. 約 29%

8) 年末の登録結核患者数を分子とし、人口を分母とする指標はどれか。(2 1)

1. 有病率
2. 罹患率
3. 受療率
4. 受診率

9) 分母が人口でないのはどれか。(2 2)

1. 出生率
2. 乳児死亡率
3. 婚姻率
4. 離婚率

10) 我が国の人口統計について正しいのはどれか。(2 5)

1. 国勢調査は人口動態統計である
2. 死亡診断書は死因統計の基礎データとなる
3. 生後 4 週未満の死亡統計から乳児死亡率を算出できる
4. 死因統計は ICF に従って分類される

11) 平成 25 年の国民生活基礎調査において、高齢者が要介護となる原因として最も頻度が高いのはどれか。(2 6)

1. 関節疾患
2. 高齢による衰弱
3. 骨折・転倒
4. 脳血管疾患

12) 人口静態統計で調べる項目はどれか。(2 6)

1. 人口
2. 死亡
3. 出生
4. 結婚

1 3) 総務省が実施する調査はどれか。(2 9)

1. 国勢調査
2. 人口動態調査
3. 国民生活基礎調査
4. 国民健康・栄養調査

1 1 疫学

1) 疫学について誤っている組合せはどれか。(12)

1. 患者・対照研究-----記述疫学
2. コホート研究-----分析疫学
3. 介入研究-----実験疫学
4. ランダム化比較試験 (RCT) -----臨床疫学

2) 喫煙群と非喫煙群とを 10 年間観察し、肺がんの発生率を比較した研究はどれか。(17)

1. 患者対照研究
2. コホート研究
3. ランダム化比較試験
4. 介入試験

3) 症例対照研究の利点はどれか。(19)

1. 情報の正確性が高い
2. まれな疾病にも対応できる
3. 罹患率を求められる
4. 交絡因子の影響を受けない

4) コホート研究で正しいのはどれか。(21)

1. 罹患率を求めることができる
2. 症例対照研究より研究期間が短い
3. 後ろ向き研究である
4. まれな疾患を効率的に研究できる

5) 乳児死亡率を表す式はどれか。(21)

1. $(\text{生後 1 年未満の死亡数の合計}) \div (\text{人口}) \times 1000$
2. $(\text{生後 1 年未満の死亡数の合計}) \div (\text{その年の出生数の合計}) \times 1000$
3. $(\text{生後 1 年未満の死亡数の合計}) \div (\text{その年の出産数の合計}) \times 1000$
4. $(\text{死産数の合計}) \div (\text{生後 1 年未満の死亡数の合計}) \times 1000$

6) 疫学について正しいのはどれか。(24)

1. 罹患率はある時点のその疾病の有無の率である
2. 有病率はある期間内の疾病の発生の率である
3. 合計特殊出生率は 1 人の女性が一生の間に産む子供の数の指標である
4. 国勢調査は 7 年に 1 回おこなわれる

7 母子保健

1) 乳児死亡について正しいのはどれか。(13)

1. 生後1週未満の死亡
2. 生後4週未満の死亡
3. 生後1年未満の死亡
4. 生後5年未満の死亡

2) 最近の乳児死亡率が最も低い国はどれか。(17)

1. アメリカ合衆国
2. スウェーデン
3. イギリス
4. 日本

3) 乳幼児死亡について正しい記述はどれか。(20)

1. 生後1週未満の死亡を早期新生児死亡という
2. 生後6週未満の死亡を新生児死亡という
3. 乳児死亡の原因で最も多いのは乳幼児突然死死亡群である
4. 新生児死亡数より早期新生児死亡数のほうが多い

6) わが国における平成24年の人口動態統計で乳児死亡の原因で最も多いのはどれか。(19)(24)

1. 悪性新生物
2. 不慮の事故
3. 乳幼児突然死症候群
4. 先天性奇形
5. 転落
6. 窒息
7. 周産期の呼吸器障害および心血管障害
8. 出血性障害および血液障害

7) 地域の衛生状態や生活水準の影響を最も反映しやすい母子保健統計の指標はどれか。(29)

1. 乳児死亡率
2. 死産率
3. 妊産婦死亡率
4. 周産期死亡率

